

何のために、誰のために備え、救い、復帰するのか

～ 今一度考えてみてほしいこと ～

株式会社土屋 取締役・最高文化責任者 古本聡

1. 阪神淡路(1995) → 東日本(2011) → 熊本(2016) → 現在(2021)
この26年間で、災害に弱い市民の周りで何が変わった？
2. インクルーシブ防災の課題
- 3.地震発生時に諦めてしまう障害者が多い
エピソード3つ
- 4.ハードもソフトも整っていない中で障害者の防災は進まない
- 5.大きな瓦礫の除去のスピードアップにかける期待
- 6.ただし、ノーマライゼーションの精神「私たちのことを私たち抜きで決めないで
(Nothing About us without us)」を忘れないでほしい。